

「杉並子育て応援券の見直し（素案）」について

「杉並子育て応援券」について、改めて利用状況を詳細に分析した結果等を踏まえ、以下の必要な見直しを図ることとする。

1 見直しの基本的な考え方

- 利用状況等を踏まえ、より使いやすい事業にするとともに、受益と負担の公平性等を考慮した仕組みに見直す。
- 見直しに当たっては、子ども・子育て会議の意見を聴きながら検討を行う。
- 見直しの時期は、サービス利用者やサービス提供事業者等への周知期間等を考慮し、平成32年4月とする。

2 見直し内容等

項目	内容	備考
(1) 券種の整理統合と交付額等の見直し	<p>① 「0歳児無償券」を「出生券」に整理統合するとともに、交付額を3万円とする。</p> <p>※ 上記に伴い0歳児多子券の交付額は3万5千円とする。</p> <p>② 「1歳児無償券」「2歳児無償券」の交付額を1万5千円とする。</p> <p>※ 上記に伴い1歳児及び2歳児多子券は2万円とする。</p> <p>③ 「有償券」は購入可能冊数を3冊にするとともに、1冊当たりの購入額を4千円とする。</p>	<p>① 現在は「0歳児無償券」「出生券」共に無償交付額は2万円（計4万円）で、1年間当たりの平均利用額は約2万9千円。</p> <p>② 現在は「1歳児無償券」「2歳児無償券」共に無償交付額は各2万円で、1年間当たりの平均利用額はそれぞれ約1万6千円。</p> <p>③ 現在は0歳児から5歳児までの各歳児において最大2万円（1冊1万円×2冊まで）の購入が可能で、1冊当たりの購入額は3千円（インセンティブ7千円）。</p>
(2) 提供サービスの運用の見直し	<p>応援券の利用促進に向け、次の通り見直す。</p> <p>① 「ゆりかご券」でのタクシー利用について、産前産後の妊産婦の外出支援の観点から利用の事由に関わらず可とする。</p> <p>② 各券種による「子どもを預けるサービス」の利用について、「ゆりかご券」と同様に交付対象以外の子ども（兄弟姉妹）の利用を可とする。</p>	<p>① 現在は、陣痛時のみかかりつけ病院へのタクシー利用が可能。</p> <p>② 現在は、出産前の「ゆりかご券」を除き、交付対象の子どものみ利用が可能。</p>

(3) 応援券利用に係る情報提供の充実	① ガイドブックについて、各歳児で利用できるサービスがわかりやすくなるよう改善を図る。 ② 区公式ホームページについて、各歳児別、サービス提供時期別等に検索できるように改善を図る。	① 現在は、サービス分類別、地域別でサービスを記載。 ② 現在はサービス分類別、事業者別にサービスを検索することが可能。
----------------------------	---	---

3 見直し後の応援券の券種と交付額

【現 行】		【見直し後】			
平成 31 年度まで (6 種類)		平成 32 年度 (9 種類)		平成 33 年度以降 (7 種類)	
券種	交付額	券種	交付額	券種	交付額
ゆりかご券	1 万円	ゆりかご券	1 万円	ゆりかご券	1 万円
出生券	2 万円	出生 + 0 歳児 無償券	3 万円	出生 + 0 歳児 無償券	3 万円
		出生 + 0 歳児 多子券	3 万 5 千円	出生 + 0 歳児 多子券	3 万 5 千円
0～2 歳児 無償券	2 万円	1～2 歳児 無償券	1 万 5 千円	1～2 歳児 無償券	1 万 5 千円
		0 歳児無償券 (経過措置※)	1 万円		
0～2 歳児 多子券	2 万 5 千円	1～2 歳児 多子券	2 万円	1～2 歳児 多子券	2 万円
		0 歳児多子券 (経過措置※)	1 万 5 千円		
0～4 歳児 有償券	1 冊 1 万円 × 2 冊まで (購入額 1 冊 3 千円)	0～4 歳児 有償券	1 冊 1 万円 × 3 冊まで (購入額 1 冊 4 千円)	0～4 歳児 有償券	1 冊 1 万円 × 3 冊まで (購入額 1 冊 4 千円)
5 歳児 有償券	1 冊 1 万円 × 2 冊まで (購入額 1 冊 3 千円)	5 歳児有償券	1 冊 1 万円 × 3 冊まで (購入額 1 冊 4 千円)	5 歳児有償券	1 冊 1 万円 × 3 冊まで (購入額 1 冊 4 千円)

※ 平成 32 年度の 0 歳児は平成 31 年度に出生券 2 万円分のみ交付となるため、見直し後の交付額との均衡を図るための経過措置として 1 万円分の 0 歳児無償券、多子世帯については 1 万 5 千円分の 0 歳児多子券を交付する。

子育て応援券事業の主な見直し経過等

年度	主な見直し経過等		サービス提供 事業者数	事業費(万円)
	対象サービス	応援券の種類・交付額		
平成 19 ～ 21	核家族化や地域のつながりの希薄化が進む中、「親の子育て力」と「地域の子育て力」の向上を目指し、19年6月に、独自事業として創設。	○無償 0～2歳児：6万円 3～5歳児：3万円	19年度 429 20年度 796 21年度 1,040	19年度 28,430 20年度 86,976 21年度 102,864
22	子どもの預かりサービスのニーズの高まりを踏まえ、幼稚園で実施する「未就園児の体験保育」を対象サービスに追加。	国の子ども手当導入を踏まえ、22年10月から、「有償交付(購入制)」に移行するとともに、「出生時の無償交付」を実施。 ○無償 出生時：1万円 ○有償 0～2歳児：8万円(10月以降分) 3～5歳児：4万円(10月以降分)	1,078	89,975
23	応援券事業の目的に照らし、親個人に対する「鍼灸マッサージ」「柔道整復師の施術・カイロ」「整体師等の民間療法」を対象サービスから除外。	○無償 出生時：1万円 ○有償 0～2歳児：8万円 3～5歳児：4万円	854	67,838
24	応援券事業の目的に照らし、日常的な家事援助には該当しない「ハウスクリーニング」を対象から除外。	「22年度事務事業等の外部評価(杉並版事業仕分け)」結果を踏まえ、地域とのつながりがより必要な低年齢児のいる家庭への支援充実を図るため、「無償交付の範囲を拡大」とともに「有償交付金額」を縮小。	882	60,247
25 ～ 27	応援券事業の目的に照らし、「親子参加サービス」のうち、いわゆる習い事的な「子育て家庭が地域とつながる視点が希薄な事業」を対象サービスから除外。	○無償 出生時：4万円 0～2歳児：2万円 ○有償 0～5歳児：2万円	25年度 835 26年度 815 27年度 749	25年度 51,074 26年度 50,601 27年度 52,464
28 ～ 29	ゆりかご券の交付に伴い、妊婦を対象とした産前サービスの追加。 ※ 提供サービス見直しの検討に伴い、新規事業者及び新規サービスの受付中断。	妊婦を対象としたゆりかご券及び小学生以下の兄弟が2人以上いる0～2歳児を対象とした多子世帯用の無償券(多子券)の交付開始。 ○無償 妊婦：1万円 出生時：2万円 0～2歳児：2万円 0～2歳児(多子)：2万5千円 ○有償 0～5歳児：2万円	28年度 639 29年度 579	28年度 53,124 29年度 49,708
30	提供サービスの見直しにより、「子どもの髪カット講座」「集いのプログラムの提供」「飲食を伴うサービス」を対象サービスから除外。	○有償 0～5歳児：2万円	547	53,556 (30年度は当初予算額)

資料４－２ 子育て応援券の種類別交付・購入可能時期と利用可能期間

区分	妊娠期	0歳期	1歳期	2歳期	3歳期	4歳期	5歳期
	1～2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
無償券	(1)ゆりかご券	● 交付 (妊娠届出時)	→				
	(2)出生券	● 交付 (誕生月)	→				
	(3)0歳児券		● 交付(4月)	→			
	(4)1歳児券			● 交付(4月)	→		
	(5)2歳児券				● 交付(4月)	→	
有償券	(6)0歳児券		● ● ● 購入(7・11・3月)	→			
	(7)1歳児券			● ● ● 購入(7・11・3月)	→		
	(8)2歳児券				● ● ● 購入(7・11・3月)	→	
	(9)3歳児券					● ● ● 購入(7・11・3月)	→
	(10)4歳児券						● ● ● 購入(7・11・3月)
	(11)5歳児券						

凡例

● 交付・購入

→ 利用可能期間

○ 「出生券」の交付は、子どもの誕生月によって、「0歳児券」の交付時期（翌年4月）と近い時期となる。このため、「有償券」は「0歳児券」から購入可能としている。

資料４－３ 杉並区行財政改革推進計画（平成31～33年度）における取組項目（抜粋）

項目名	子育て応援券事業の適正化		
取組内容	子育て応援券事業について、利用実態等を踏まえ、より効率的・効果的な事業となるよう必要な見直し・適正化を図ります。		
	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度
	子育て応援券事業 見直し検討	子育て応援券事業 見直し	

資料4-4 子育て応援券の利用状況分析結果

注：①平成28年度の利用状況に加え、()内に平成25～27年度の利用状況を記載。
 ②「交付年度平均利用額」は、当該年度の「利用総額」を「利用者数」で除した数値。

(1) 無償券

区分	交付券種	未利用者数 /交付者数	利用者数 /交付者数	年間 平均利用額 【対利用者】	平均利用額以上 利用者数/利用者数
無 償 券	(1)妊婦期 ゆりかご券 (1万円)	70.5% (—)	29.5% (—)	7,566円 (—)	60.4% (—)
	(2)出生時 出生券 (2万円*)	62.4% (52.6%)	37.6% (47.4%)	11,774円 (9,242円)*	51.1% (43.5%)
	(3)0歳期 0歳児券 (2万円)	18.8% (19.1%)	81.2% (80.9%)	17,140円* (17,643円)*	44.0% (45.1%)
	(4)1歳期 1歳児券 (2万円)	23.9% (22.3%)	76.1% (77.7%)	16,266円 (16,620円)	48.6% (50.8%)
	(5)2歳期 2歳児券 (2万円)	19.8% (17.8%)	80.2% (82.2%)	15,829円 (15,909円)	50.4% (52.2%)
	0歳期・多子 0歳児多子券 (2.5万円)	15.2% (—)	84.8% (—)	20,317円* (—)	45.4% (—)
	1歳期・多子 1歳児多子券 (2.5万円)	15.9% (—)	84.1% (—)	19,331円 (—)	54.2% (—)
	2歳期・多子 2歳児多子券 (2.5万円)	13.6% (—)	86.4% (—)	17,367円 (—)	51.2% (—)

*:「出生券」の交付額は、平成27年度まで4万円であったため、2万円に換算し算出。

- 「ゆりかご券」は未利用者が多いことから、今後の対応策を検討する必要がある。
- 「出生券」は出生月の交付となるため、0歳児券交付までの期間が短いケースがある。これに加え、未利用者の割合が高いことから、両者の関係を整理する必要がある。
- 「1歳児券」、「2歳児券」の利用者は交付者数の概ね80%で、利用者の平均利用額はいずれも交付額(2万円)の概ね80%(約1万6千円)となっている。
- 「0～2歳児多子券」の利用者は、交付者数の概ね85%で、利用者の平均利用額はいずれも交付額(2.5万円)の概ね80%(約1万9千円)となっている。

(2) 有償券

区分	交付券種	購入者数/人口* (*翌年4/1現在)	購入者数 /無償利用者数	有償券 利用者数	年間 平均利用額 【対利用者】	平均利用額以上 利用者数/利用者数
有 償 券	(6)0歳期 0歳児有償券 (最大2万円)	26.3% (25.8%)	27.0% (29.4%)	748人 (730人)	13,611円 (13,739円)	42.9% (54.6%)
	(7)1歳期 1歳児有償券 (最大2万円)	28.8% (31.1%)	33.0% (37.1%)	1,300人 (1,347人)	17,168円 (16,690円)	53.5% (53.6%)
	(8)2歳期 2歳児有償券 (最大2万円)	30.0% (34.1%)	35.2% (38.6%)	1,405人 (1,451人)	17,152円 (17,464円)	51.5% (54.2%)
	(9)3歳期 3歳児有償券 (最大2万円)	38.0% (42.1%)		1,540人 (1,669人)	15,276円 (15,822円)	49.3% (52.4%)
	(10)4歳期 4歳児有償券 (最大2万円)	44.1% (46.3%)		1,903人 (1,973人)	14,899円 (15,200円)	48.6% (51.4%)
	(11)5歳期 5歳児有償券 (最大2万円)	38.6% (39.7%)		1,939人 (1,933人)	16,741円 (16,996円)	52.2% (54.5%)

- 0～2歳児の有償券(最大2万円)の購入者は、各歳児の無償券利用者数の30～35%、3～5歳児は対象者(翌年4月1日現在人口)の概ね40～45%である。

(3) 主な利用サービス（平成 28 年度利用状況）

区分	主な利用サービス	
	保育園利用	保育園未利用
(1) 妊娠期	①子育て相談 ②産前・産後の支援 ③特定施設での一時保育	
(2) 出生時	①子育て相談 ②産前・産後の支援 ③親も子ども楽しむ交流事業	
(3) 0歳期	①インフルエンザ予防接種 ②子育て相談 ③親も子ども楽しむ交流事業	①特定施設での一時保育 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③子育て相談
(4) 1歳期	①インフルエンザ予防接種 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③子育て相談	①特定施設での一時保育 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③インフルエンザ予防接種
(5) 2歳期	①インフルエンザ予防接種 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③自宅での託児サービス	①特定施設での一時保育 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③インフルエンザ予防接種
(6) 0歳期・多子	①親も子ども楽しむ交流事業 ②インフルエンザ予防接種 ③子育て相談	①特定施設での一時保育 ②子育て相談 ③親も子ども楽しむ交流事業
(7) 1歳期・多子	①インフルエンザ予防接種 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③家事援助	①特定施設での一時保育 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③インフルエンザ予防接種
(8) 2歳期・多子	①インフルエンザ予防接種 ②特定施設での一時保育 ③親も子ども楽しむ交流事業	①特定施設での一時保育 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③インフルエンザ予防接種

区分	主な利用サービス	
	保育園利用	幼稚園利用
(9) 3歳期	①親も子ども楽しむ交流事業 ②インフルエンザ予防接種 ③自宅での託児サービス	①特定施設での一時保育 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③インフルエンザ予防接種
(10) 4歳期	①親も子ども楽しむ交流事業 ②インフルエンザ予防接種 ③特定施設での一時保育	①特定施設での一時保育 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③インフルエンザ予防接種
(11) 5歳期	①親も子ども楽しむ交流事業 ②インフルエンザ予防接種 ③自宅での託児サービス	①特定施設での一時保育 ②親も子ども楽しむ交流事業 ③インフルエンザ予防接種

資料４－５ 子育て応援券に関するアンケート調査結果等

- 1 調査時期 平成 30 年 9 月～10 月
- 2 調査対象 子ども子育てプラザ（和泉、天沼、成田西）を利用する妊婦又は就学前児童のいる保護者 141 名
- 3 調査方法等 調査対象者にアンケート用紙を配布し、記入後回収

4 調査結果（概要）

（1）応援券の認知度

無償券、有償券は多子券を除き、74%以上の認知度で、「どれも知らない」は 1.4%。

（2）ゆりかご券について

「使い切れていない理由」のうち、最も多かったものは、「利用したいサービスが少ない」（32%）で、求めるサービスは「医療機関での利用」「おむつ・ミルク等の購入」「通院を含めたタクシー利用」など。

（3）出生券について

「使いきれていない理由」のうち、最も多かったものは「まだ利用中」（46%）。次いで「利用したいサービスが少ない」（24%）。

（4）利用サービスの情報入手先

「ガイドブック」（65%）、「区公式HP」（38%）、次いで「友人からの口コミ」（34%）。

（5）自由意見

「有償券の購入可能冊数を増やしてほしい」（8件）、「ガイドブックや公式HPを改善してほしい」（8件）のほか、「便利でありがたいサービスである」（8件）など。

資料４－６ サービス提供事業者の状況（平成30年4月）

サービス分類		サービス数	登録事業者数	登録事業者内訳						
				任意団体	個人	NPO	社団	社会福祉法人	株式・有限会社	その他
親子地域ふれあいサービス	親も子も楽しむ交流事業	458	263	54	140	9	2	0	50	8
	親子の集い事業	13	12	3	4	2	0	0	2	1
	親子で楽しむ地域イベント	46	29	13	9	5	0	0	2	0
親をサポートするサービス	産前・産後の支援	135	92	6	40	8	1	0	34	3
	家事援助	42	42	0	4	4	1	0	32	1
	子育て相談	167	166	9	57	4	87	0	5	4
	子育て講座	134	82	14	55	4	1	1	6	1
	障害のある子の移送サービス	2	2	0	0	2	0	0	0	0
子どもを預けるサービス	特定施設での一時保育	62	54	3	4	5	1	12	16	13
	イベントなどの託児サービス	17	17	0	1	2	0	0	13	1
	自宅での託児サービス	57	48	2	0	7	1	1	37	0
	幼稚園での体験型保育	4	4	1	1	0	0	0	0	2
その他	インフルエンザの予防接種	169	169	0	0	0	169	0	0	0
合 計		1,306	980	105	315	52	263	14	197	34

※ 複数の分類のサービスを提供している事業者はそれぞれの分類で事業者数としてカウントしており、実事業者数は547。

(1) 子育て応援券 利用施設別平均利用額
(3～5歳：28年度利用状況)

区分	交付券種	年間平均利用額 〔対利用者〕	【保育施設利用者】 年間平均利用額 〔対利用者〕	【幼稚園利用者】 年間平均利用額 〔対利用者〕
3歳期	3歳児有償券 (最大2万円)	15,276円	14,903円	15,755円
4歳期	4歳児有償券 (最大2万円)	14,899円	13,883円	15,676円
5歳期	5歳児有償券 (最大2万円)	16,741円	14,979円	17,975円

(2) 利用施設別・利用者別・利用率別分布【3～5歳】(平成28年度交付有償券)

利用者別利用状況	保育園利用	幼稚園利用
購入分全て利用(100%)	59.7%	68.8%
8割以上利用(80～99%)	13.5%	12.7%
半分以上利用(50～79%)	13.1%	9.4%
半分未満利用(1～49%)	8.9%	6.0%
全く利用していない(0%)	4.7%	3.1%